

Docex360／ウォッチガード Drainlineのインフラ運用の拡大に合わせて、堅牢なセキュリティを提供

課題

Drainlineは、急成長中の道路インフラサービスを提供する企業であり、事業拡大に伴い、サイバーセキュリティの強化が必要となっていました。道路や鉄道の排水インフラを専門とするDrainlineの事業は、英国のEast Sussex、West Sussex、Surreyをはじめ、その他の郡における大規模な契約が含まれており、その多くは国の重要インフラに関わるものです。大手の顧客から求められる厳格なセキュリティ基準を満たすため、同社は事業の拡大に合わせて、拡張可能なエンタープライズレベルのセキュリティソリューションが必要でした。

また、従業員数が増加し、リモートワーカーが増えるにつれ、従来のITプロバイダーはこうした需要の高まりに対応できなくなりました。そこでDrainlineは、顧客の高いセキュリティ要件を満たす安全で拡張性の高いソリューションを提供できる、より能力の高いパートナーを探すことになりました。

ソリューション

Drainlineは、地元で定評のあるマネージドサービスプロバイダーであり、ウォッチガードのゴールドパートナーでもあるDocex360に依頼することにしました。Drainlineのコミュニティ CSR兼採用マネージャーであるSam Bull（サム・ブル）氏は次のように説明しています。「私たちは、当社と共に成長できる、地元で信頼できるプロバイダーを探していましたが、Docex360はまさにその条件にぴったりでした。当社の事業拡大において、Docex360のサポートと専門知識は極めて重要な役割を果たしてきました。」

Docex360はまず、ウォッチガードのT80ファイアウォール（当時のモデル）およびVPNソリューションを導入しました。これは、大手クライアントのシステムにアクセスする際、すべてのネットワークトラフィックを単一のIPアドレス経由でルーティングするという重要な要件に対応するためでした。Docex360のIT責任者であるTiago Pereira Mendes（ティアゴ・ペレイラ・メンデス）氏は次のように説明しています。「Drainlineのリモートワーカーが、すべてのセキュリティ要件を満たしつつ、クライアントのシステムに安全にアクセスできるようにする必要がありました。ウォッチガードのファイアウォールおよびVPNソリューションは、まさにそれを実現し、Drainlineのような中小企業にも適した価格帯で、エンタープライズレベルのセキュリティを提供することができました。」

また、Docex360は、従業員による重要システムへのアクセスを保護するため、ウォッチガードの多要素認証（MFA）ソリューションであるAuthPointを導入しました。サム・ブル氏は「このレベルのセキュリティがなければ、著名なクライアントとの取引は実現できなかったでしょう。ウォッチガードが提供する技術と、Docex360の継続サポートおよび専門知識のコンビネーションは、当社の成長にとって不可欠な要素となりました」と述べています。

次に、さらなる保護の必要性を認識し、Docex360はDrainlineの従来のエンドポイントセキュリティシステムを、ゼロデイ脅威に対する高度な保護機能を備えたWatchGuard Endpoint Security 360（エンドポイント保護／検知／レスポンス）に置き換えました。Docex360のオーナー兼ディレクターであるBen Hall（ベン・ホール）氏は次のように語っています。「私たちの目標は、堅牢で目的に適したソリューションを提供することです。Drainlineにウォッチガードを推奨したのは、同社のセキュリティ要件を満たすだけでなく、今後も安全に事業を拡大し続けられると確信していたからです。」

クライアント

Drainline

従業員数

270

業種

排水サービス

地域

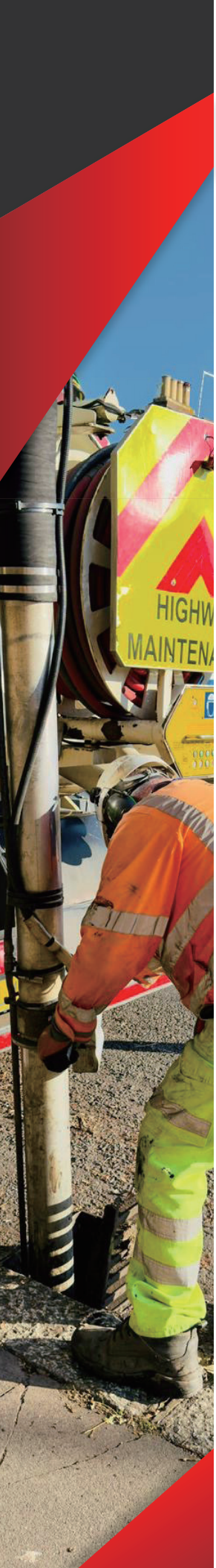
英国

ウォッチガード製品

- WatchGuard Firebox
- WatchGuard Total Security Suite
- WatchGuard Endpoint Security 360
- WatchGuard AuthPoint（多要素認証）

「私たちは、当社と共に成長できる、地元で信頼できるプロバイダーを探していましたが、Docex360はまさにその条件にぴったりでした。当社の事業拡大において、Docex360のサポートと専門知識は極めて重要な役割を果たしてきました。」

- Drainline コミュニティCSR兼採用担当マネージャー Sam Bull（サム・ブル）氏



成果

Docex360とウォッチガードのパートナーシップは、Drainlineが大手顧客の厳しいサイバーセキュリティ要件を満たす上で、極めて重要な役割を果たしてきました。T80ファイアウォール、AuthPoint MFA、Endpoint Security 360など、ウォッチガードの製品およびソリューション群を統合したポートフォリオを導入したことで、Drainlineはセキュリティ態勢全般を強化し、わずか数年で従業員数を30名から260名以上に拡大することができました。

Drainlineのサム・ブル氏は、これらの技術がもたらす影響について次のように説明しました。「Docex360とウォッチガードの統合セキュリティ製品およびソリューションのおかげで、クライアントが求めるセキュリティ基準を満たせるという確信を持ち、より大規模な契約への入札に自信を持って臨むことができます。これほどのセキュリティレベルがなければ、著名なクライアントとの取引は実現できなかったでしょう。」

大きなメリットの一つは、大手クライアントとの取引における重要な要件である「Cyber Essentials」などの認証取得プロセスが効率化されたことです。Docex360のティアゴ・ペレイラ・メンデス氏は、ウォッチガードのソリューションがこれを可能にしている点を次のように強調しました。「当社は毎年、DrainlineのCyber Essentials認証の管理を行っておりますが、ウォッチガードの製品のおかげで要件を満たし、コンプライアンスを維持することが容易になり、Drainlineは安心して業務に取り組むことができます。」

Drainlineが従来使用していたエンドポイントソリューションに代わり、ウォッチガードのEndpoint Security 360を導入したことで、ゼロデイ脅威に対する高度な防御が実現し、リモートワーカーのセキュリティがさらに強化されました。Docex360社のベン・ホール氏は、このアップグレードの重要性を次のように力説しています。「私たちは、EDR技術を活用して、ゼロデイ脅威を未然に防ぎたかったのです。この移行により、Drainlineの防御態勢が強化され、システムが常に保護されるようになりました。」

Docex360のサポートによるウォッチガードソリューションの提供によって、Drainlineは現在のセキュリティ要件を満たすことができ、将来の成長にも対応できる体制を整えることができました。サム・ブル氏は次のように述べています。「当社は引き続き事業を拡大し、より大規模な契約を獲得しています。Docex360とウォッチガードが提供する堅牢なセキュリティとサポートがあれば、ITが足かせになることを心配することなく、成長を続けられると確信しています。」

サム・ブル氏は次のように締めくくりました。「Docex360はDrainlineにとって、価値ある信頼できるパートナーとなりました。これにより、Docex360とウォッチガードの製品／サービスが当社のサイバーセキュリティおよびITの要件を支えてくれるおかげで、安心して本業に集中できるようになりました。」

「Docex360とウォッチガードの統合セキュリティ製品およびソリューションのおかげで、クライアントが求めるセキュリティ基準を満たせるという確信を持ち、より大規模な契約への入札に自信を持って臨むことができます。これほどのセキュリティレベルがなければ、著名なクライアントとの取引は実現できなかったでしょう。」

- Drainline コミュニティCSR兼採用担当マネージャー Sam Bull（サム・ブル）氏

WatchGuard Technologiesについて

WatchGuard® Technologies, Inc.は、統合型サイバーセキュリティにおけるグローバルリーダーです。ウォッチガードのUnified Security Platform®（統合型セキュリティプラットフォーム）は、マネージドサービスプロバイダー向けに独自に設計されており、世界トップクラスのセキュリティを提供することで、ビジネスのスケールとスピード、および運用効率の向上に貢献しています。17,000社を超えるセキュリティのリセラーやサービスプロバイダと提携しており、25万社以上の顧客を保護しています。ウォッチガードの実績豊富な製品とサービスは、ネットワークセキュリティとインテリジェンス、高度なエンドポイント保護、多要素認証、セキュアWi-Fiで構成されています。これらの製品では、包括的なセキュリティ、ナレッジの共有、明快さと制御、運用の整合性、自動化という、セキュリティプラットフォームに不可欠な5つの要素を提供しています。同社はワシントン州シアトルに本社を置き、北米、欧州、アジア太平洋地域、ラテンアメリカにオフィスを構えています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多彩なパートナーを通じて、国内で拡大する多様なセキュリティニーズに応えるソリューションを提供しています。詳細はhttps://www.watchguard.co.jpをご覧下さい。

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社　〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9 BPR プレイス神谷町5階
TEL：03-5797-7205　Email：jpnsales@watchguard.com　www.watchguard.co.jp

© 2026 WatchGuard Technologies, Inc. All rights reserved. WatchGuard、WatchGuardロゴ、Fireboxは、米国および／またはその他の国のWatchGuard Technologiesの商標または登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。 作成日：2026年8月